

ジュニアビレッジを軸に推進する 共創社会

企業概要



KANAGAWA SDGs PARTNER
神奈川県 | SDGs推進事業 実施パートナー 株式会社



- 商号 株式会社寺子屋根っこ塾
- 所在地 神奈川県横浜市都筑区中川5-40-27
- 創業 2021年7月1日 創業（資本金10,000,000円）
- 代表取締役 大竹千広
- 事業内容 アグリーツ®EdTEech学習システムを軸にした各種教材・コンテンツ開発、小中学生向け擬似会社「ジュニアビレッジ」の横浜市を中心とした拠点実装支援



- 商号 グローカルデザインスクール株式会社
- 所在地 静岡県牧之原市布引原1076-2
- 創業 2018年7月5日 創業（資本金7,000,000円）
- 代表取締役 大竹千広
- 事業概要



- ・ アグリーツ®EdTech学習システムを軸にした各種人材育成プログラムの企画運営と「ジュニアビレッジ」地域実装支援
- ※神奈川県横須賀ジュニアビレッジを含む5拠点を運営
- ・ 企業向け研修・協働プロジェクト「コーポレートビレッジ」
- ・ ビレッジローカルスタートアップ支援事業(受託事業)
- ・ 募集販売プラットフォーム事業

人と地域の未来を創る"ジュニアビレッジ"の取組み

アグリアーツ®による「人づくり」と食を通じた「コミュニティづくり」

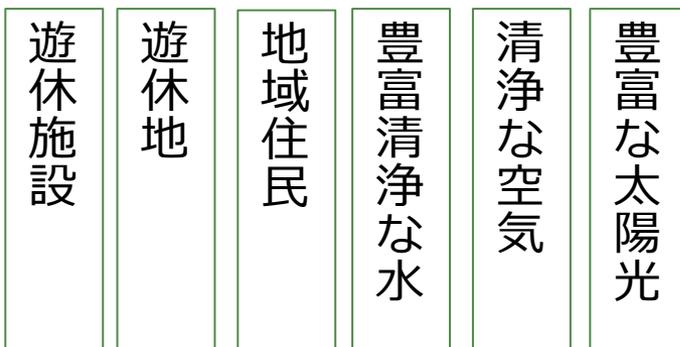
アグリアーツ®EdTech学習システム

地域資源

農業をリベラルアーツを捉えた
人づくりカリキュラム



+



異年齢、多世代が参加し
共創する場

「ジュニアビレッジ」
小中学生が主役の擬似会社

異なる価値観を受け入れる
ことでイノベーションを誘起

自分の未来を自分で創る力を育成

仲間と共創し、地域のためにやりぬく体験を通じて、自分の得意や好きを見つけ、挑戦する楽しさ（課題を乗り越える力）を実感

地域課題を解決

人口減少対策 教育改革 コミュニティの維持
自給率向上とフードロス削減
農業活性（生産コストに見合う農業の実現）

ウェルビーイング社会の実現-自分らしく生きる人で溢れる社会

人と地域の未来を創る年間活動

START

目標達成
するぞー



リーフサポーターを
増やすには？



ステーク
ホルダー
との価値
交換

販売計画
実績管理

資源を
使って
完熟堆肥
づくり

微生物のおそろべし
パワー！

魅力はどうしたら
伝わる？

活動チラ
シづくり

土づくり
畑づくり

畝づくり
マルチ
はり

種まき・定植
商品作りのための
大事な作業



水やり
草取り

会社経営
とは？

農家さん
見学とお
手伝い

栽培記録とデータ検証
農家さんができてて、
自分たちができてない
ことは何？



会社設立
年間目標
役割決定

収穫
収穫と一次加工



商品企画
コンセプト・パッケージ
デザイン



どんな未来を
つくりたい？

役割決め
活動目標
設定

商品企画
味決め・調理実習



市場調査



商品の一番の魅力はなんだろう？
お客さんにとってのハッピーを
どうつくる？

ビジネス
デザイン
マーケ
ティング

販売会



販売
プレゼン
資料作成

さらに共感者をふやすに
は？起承転結でプレゼン
をどうやってやる？



全国事業報告会
活動報告&商品ピッチ



GOAL

To be
Continued



ジュニアビレッジを軸とした共創

フードロス削減、資源循環を実践する小中学生が主役の擬似会社

ジュニア
ビレッジ
年間活動



未来を担う子ども達を社会全体で育て、持続可能な社会を共創

生産者からの野菜購入量
(生産コストにみあう価格ベース)

800kg

フードロス削減
(規格外野菜利用ベース)

270kg

2023年度11月現在

商品購入により
フードロスを削減、エシカル消費を推進

地域の多様な
プレイヤーが人づくりに
関わる



共創を通じてウェルビーイング価値を創出

共創でフードロス削減や地域活性に取り組む

規格外野菜も活用し、子ども達からできることをカタチにした特産品

菊川ジュニアビレッジ

(静岡県菊川市)



三鷹ジュニアビレッジ

(東京都三鷹市)



浜松ジュニアビレッジ

(静岡県浜松市)



横須賀ジュニアビレッジ

(神奈川県横須賀市)



横浜ジュニアビレッジ

根っこ塾
(神奈川県横浜市)



和泉ジュニアビレッジ

(大阪府和泉市)



各拠点年間**1万個販売**

を目標に活動

商品販売を通じて、エシカル消費を啓発



横浜ジュニアビレッジ根っこ塾では
会社経営を通じて、地域と交流し、横浜のフードロス削減に
取り組んでいます。

ヨコハマ CRAFTOMATO

新感覚のケチャップソース

トマトを増やし、さらにおいしくなりました

フードロス削減につながった規格外
ミニトマトは270キロ。
小中学生からできることを考え、
カタチにしました！味はもちろん、
私たちのつくるものがたりも
味わってください。

ヨコハマ・ミニトマトたっぷり

フルーツトマトの 自然な甘さ



SPECIAL
THANKS!

チームかながわで取り組みました
有限会社秋山木工 秋山利輝氏（経営）
UASLLC 金子栄治氏（農業指導）、社会福祉法人進和学園様（一次加工）
TSUBAKI食堂 橋直樹シェフ（レシピ監修）、Craft for kids主宰 嶋田英津子氏（デザイン監修）



new

横浜から地産地消をすすめ、日本の農業を元気に！
食べる人を元気に！

ヨコハマたまねぎ ドレッシング

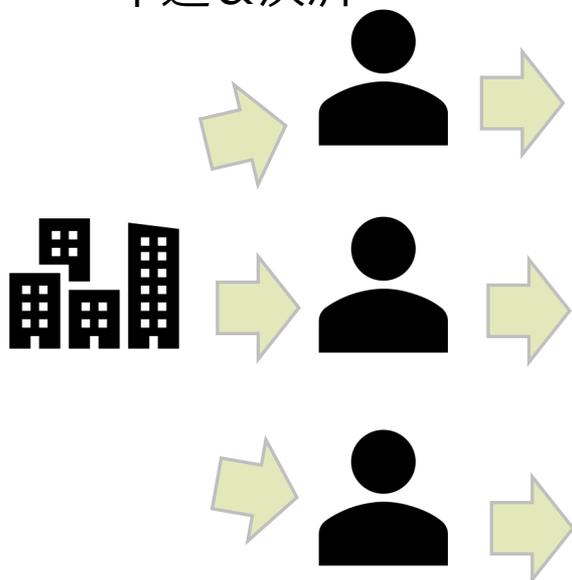


横浜の工場のおがくずなど、資源を完熟堆肥にした土づくりから
はじめ、農業を使わずに育てたたまねぎを余すことなく、
1年かけてドレッシングにしました。

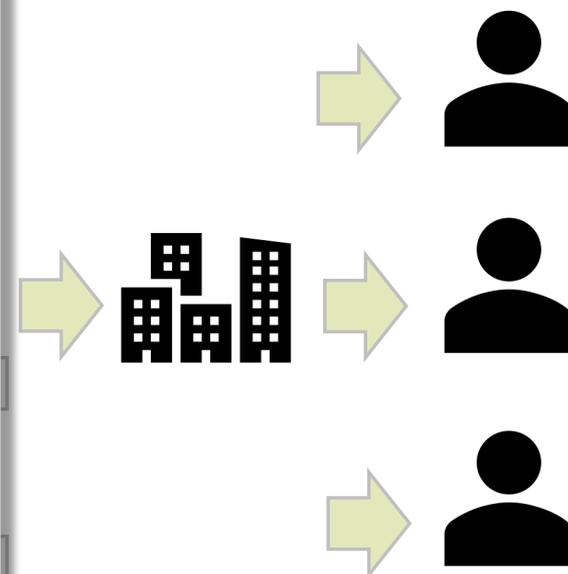
企業と共に進めるコレクティブインパクト事例

共創の輪が広がるほど、豊かな未来を創ることにつながる。子ども達とできることから、豊かな未来を共創する仲間を増やす。

社員の方が企業用
専用サイトより直接
申込&決済



企業宛一括納品



**企業がオンライン販売のハブになり、
年に数回の定期販売を実施**

企業と共に進めるコレクティブインパクト事例

リーフサポーター企業として、子ども達と一緒に協働プロジェクトを進める。

工場の端材を使って完熟堆肥をつくり、畑で活用。できあがった商品は企業のノベルティとして活用。



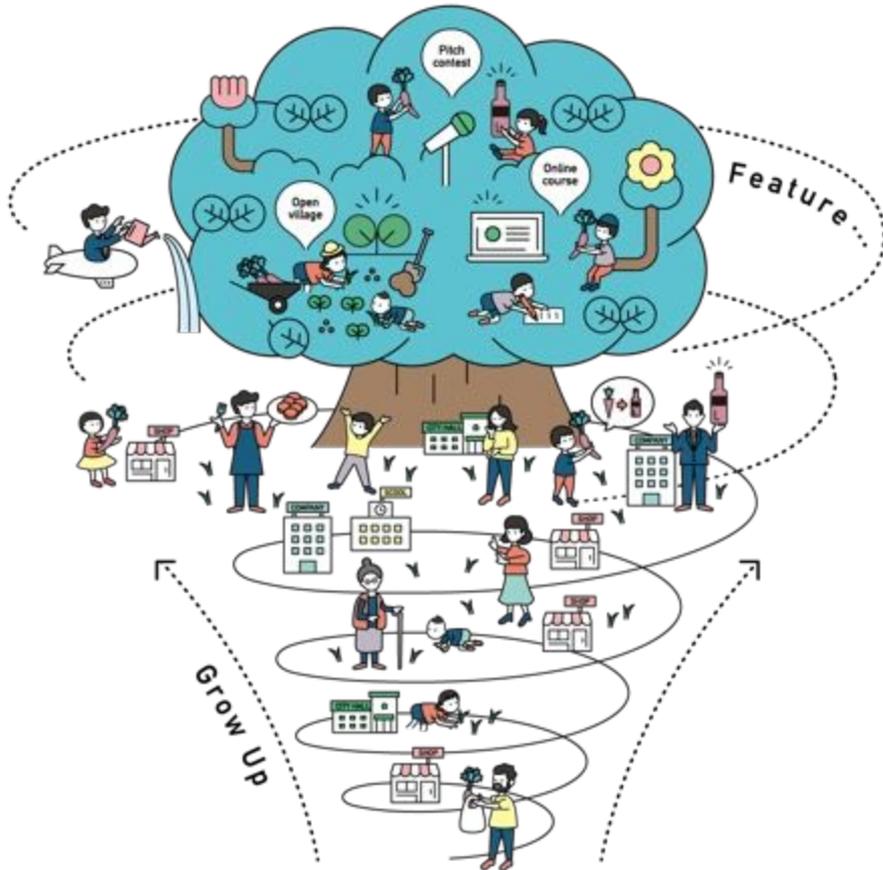
プロボノとして、3ヶ月の販路開拓プロジェクトを協働実施。
(人材研修の一環)



活動支援型商品購入プログラムリーフサポーター企業として、社員の皆さんがジュニアビレッジの活動に参加。SDGs達成に向けた実践の機会に。



一緒に共創の輪を広げていただける 企業様を募集しています！



KANAGAWA SDGs PARTNER

神奈川県 | SDGs未来都市 私たち一人ひとりの行動が、未来につながる。



ご清聴ありがとうございました！